

平成29年度
弘前大学教育学部附属特別支援学校
公開研究発表会
(二次案内)

研究主題

「豊かに表現する児童生徒」を育む授業の在り方



関係各位

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび公開研究発表会を開催する運びとなりました。

つきましては、多数のご参会のもと、研究をご覧いただき、ご指導やご意見を仰ぎつつ、
実り多い研究発表会にしたいと考え、ご案内申し上げます。

平成29年6月吉日

弘前大学教育学部附属特別支援学校 校長 岩井 康 頼

期 日 平成29年7月13日(木)
会 場 弘前大学教育学部附属特別支援学校
〒036-8174 青森県弘前市富野町1番地76
TEL 0172-36-5011 FAX 0172-36-5012

後 援 青森県教育委員会、弘前市教育委員会、青森県特別支援学校校長会

日 程

| | | | | | | | |
|---------------|---------------|-------------------------|----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 8:30 ～9:00 | 9:00 ～9:50 | 10:00 ～ 10:40 | 10:50 ～ 11:30 | 11:30 ～12:20 | 12:25 ～13:35 | 13:45 ～15:15 | 15:15 ～15:30 |
| 受付 | 全体会 | 提案授業 ①, ②, ③ 公開授業 | 提案授業 ④, ⑤ 公開授業 | 昼食 | 分科会 | 講 演 | 閉会 |

全体会 (9:00～9:50)

- 開会行事（挨拶，来賓紹介，日程説明）
- 研究概要報告

本校では、「豊かに表現する児童生徒」を育むという視点で授業を行い，児童生徒が学習に取り組む様子を評価し，授業分析と支援の改善を行いながら，有効な支援の方法を探ってきた成果と課題を報告します。

提案授業①国語，②図工・美術 (10:00～10:40)
 提案授業③自立活動 (10:00～10:40)
 提案授業④音楽，⑤体育・保健体育 (10:50～11:30)

| 提案授業 | 研究グループ・教科等名 単元名・題材名 | 授業学級，グループ ＜授業者＞ | 授業の概要 |
|------|---------------------------|--|---|
| ① | 国語 「絵を見て話を作ってみよう」 | 高・国語Dグループ (高等部1～3年) ＜白石 公德＞ | 昔話の絵を見て，状況に合った話を作ることで，文章で分かりやすく伝える学習を行います。 |
| ② | 図工・美術 「ねん土で作ろう」 | ひまわり学級 (小学部3・4学年) ＜小林 泰子＞ ＜勘林 秀平＞ | 児童が粘土という材料に親しみ，対話する中で行為を形にしたり，自分の思いや感じたことを自由に表出したりします。 |
| ③ | 自立活動 「話し上手になろう」 | 中3組 (中学部3年) ＜白藤 剛＞ | ロールプレイを通して，自分の話し方を自己評価，相互評価しながら，状況に応じた話し方の約束について学びます。 |
| ④ | 音楽 「音の絵の具」 | 中学部 (全学年) ＜小枝 洋平＞ 他3名 | 生徒がテーマを考え，音を探し，音楽を作ります。生徒が表現したい音楽を教師が感じ取り，作品を作るサポートをしていきます。 |
| ⑤ | 体育・保健体育 「体づくり運動～ボール編～」 | 小学部 (全学年) ＜中嶋 実樹＞ 他5名 | バルシューレを取り入れたボール運動の学習です。自己目標を言葉に出して確認し，個々の表出を大切に受け止めて評価する中で，「精一杯」を引き出す授業を行います。 |

分科会

- 各グループの研究概要説明
- 授業者から
- 研究協議
- 助 言

国語、音楽、図工・美術、体育・保健体育、自立活動の各教科等グループごとに分科会を行います。各教科等で定義した「豊かに表現する児童生徒」の姿を授業で引き出すために行った支援の方法について参観者のみなさんと協議し、より良い授業の在り方を探っていきたいと思います。

協議の柱：児童生徒の表現する力を育むための支援方法について

| 研究グループ | 「豊かに表現する児童生徒」の定義 | 助言者 |
|---------|---|--|
| 国語 | 言葉、文字を通して、あったこと、思い、考え、感じたことなどを他者に伝えること。 | 弘前大学教育学部 准教授 増田 貴人 氏 |
| 音楽 | 「鑑賞」や「表現（歌唱、器楽、身体表現、創作）」における相互の活動の中で作られた音や音楽。 | 弘前大学教育学部 教 授 今田 匡彦 氏 |
| 図工・美術 | 作品の制作過程及び結果として、自分の思いや感じたことを出すこと。 | 弘前大学教育学部 教 授 蝦名 敦子 氏 |
| 体育・保健体育 | 一人一人が目標に向かって精一杯身体を動かす姿。 | 弘前大学教育学部 教 授 本間 正行 氏 |
| 自立活動 | どうしたら相手に伝わるか、児童生徒が自己選択、自己決定して発信すること。 | 弘前大学教育学部 准教授 天海 丈久 氏 講 師 中山 忠政 氏 |

講 演

講 師 元鹿児島国際大学福祉社会学部児童学科教授 成 田 孝 氏

演 題 「豊かな表現を育むための教授学的根拠を考える」

表現力の育成のための教授学的根拠を明確にした授業づくりの大切さについて、本校の研究や特別支援教育に向けて、これまでのご経歴のお立場からご講演いただきます。

元鹿児島国際大学福祉社会学部児童学科教授。多摩美術大学卒業。公立中学、県立・国立・私立の特別支援学校にも勤務。第12回（平成3年度）辻村奨励賞受賞。クラークス協会（ドイツ）会員。

主な著書

- ・「表現の意味について－ルートヴッヒ・クラークスに依拠して－」『弘前大学教育学部教科教育研究紀要第1号』（単著、1985）
- ・『障害児の教授学入門』（共著、2002） コレール社
- ・『発達に遅れのある子どもの心おどる土粘土の授業－徹底的な授業分析を通して－』（単著、2008）黎明書房
- ・『教師と子どもの共同による学びの創造－特別支援教育の授業づくりと主体性－』（共著、2015）大学教育出版
- ・『心おどる造形活動－幼稚園・保育園の保育者に求められるもの－』（単著、2016）大学教育出版 他

参加申し込みについて

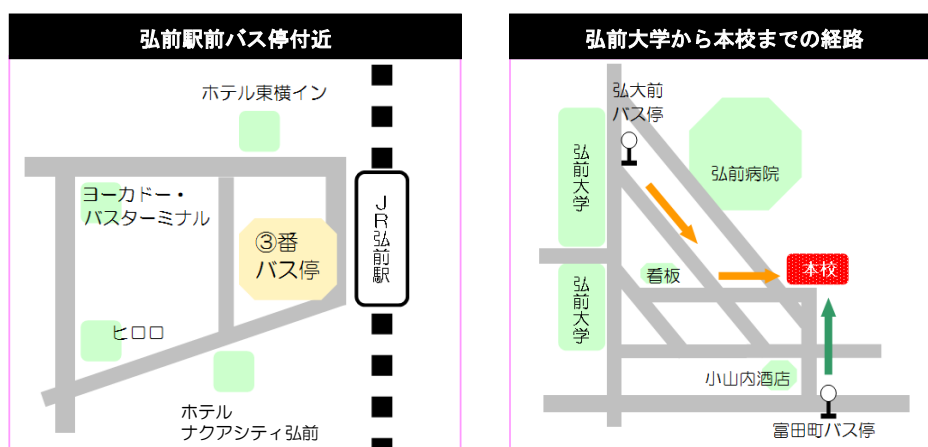
○申し込みは、FAX申込票にて平成29年7月6日（木）までお願いいたします。

○弁当〈お茶付き〉を希望する方は、同じくFAX申込票にて、お申し込みください。
なお、代金800円を当日受付でお支払いください。

会場への交通アクセス

☆ お車でお越しになる際は、学校周辺の道幅が狭いですので十分ご注意ください。

【弘前駅および本校付近の略図】



【弘前駅から路線バスの利用（路線バス乗車時間 約10分）】

- 弘南バス「学園町」行, 「小栗山」行, 「狼森」行
 - ・弘前駅前③番から乗車－弘前大学前下車－徒歩5分－本校
- 弘南バス「座頭石」行
 - ・弘前駅前③番から乗車－富田町下車－徒歩5分－本校

バス時刻案内（弘前駅前バス停発）

| | 学園町行 | 小栗山行・狼森行 | 座頭石行 |
|-----|------------|------------|------|
| 7時台 | 10, 25, 55 | 45 | 50 |
| 8時台 | | 00, 15, 30 | 05 |

【問い合わせ先】

弘前大学教育学部附属特別支援学校

教頭 松橋 浩仁

TEL 0172-36-5011 FAX 0172-36-5012

Email hufy@hirosaki-u.ac.jp